



令和5年 はたちのつどい



上記の集合写真は1月20日(金)～2月28日(火)までの間、社会福祉センター窓口にてお渡しします。

新たな門出 感謝と決意胸に

1月8日「令和5年はたちのつどい」が社会福祉センターで行われ、新成人が新たな門出を祝うとともに決意を新たにしました。

出席した新成人は、対象者62人のうち38人です（平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた方。町外に住民票を有する8人を含む）。

本町では、昨年4月の民法改正により成人年齢が18歳に引き下げとなりましたが、従来通り20歳を対象に実施しています。

式典では川島眞澄教育長が「皆さんは人口減少や超高齢化に加え、新型コロナウイルスのような不測の事態など、激しく変化する環境の中を生き抜いていかなければなりません。しかし、変化の大きい時代はチャンスが多い時代ともいえます。無限の可能性を信じて新しい時代を切り開き、これからの人生を力強く生き抜いていくことを期待しています」と式辞を述べました。

来賓の棚野孝夫町長は「両親やお世話になった方々への感謝の気

持ちを忘れず、悔いのない人生を送ってほしい」、富田忠行町議会議長は「感謝の気持ちに胸に、新成人としての一歩を踏み出してほしい」と祝辞を述べました。

新成人を代表し、石田慶次郎さんと鈴木小純さんが町民憲章を朗読。平野滉大さんと伊良和花さんが「ふるさとを築く地域の一員として、郷土を愛し町づくりに貢献できる地域人になれるように頑張ります」と誓いの言葉を述べました。また、大岡翼さんと加藤夏美さんが両親に感謝の言葉を述べました。

最後は、白糠手話の会が卒業式などで歌われる『ピリッヴ』の歌詞の手話を音楽に合わせて披露。また、地域おこし協力隊（情操教育指導者）の山田陽子さんがショパン作曲「幻想即興曲」をピアノで演奏、続いて斉藤弥音さんがデイズニー映画リトル・マーメイドの挿入歌『パート・オブ・ユア・ワールド』を歌い、新成人の門出に花を添えました。



「はたちの誓い」を述べた伊良さんと平野さん



記念品を受け取った日裏那々弥さん



「町民憲章」を朗読した鈴木さんと石田さん

感謝の言葉

この20年間、私たちは多くの人に支えられながら成長することができました。これからも人との関わりを大切に、自分が誰かを支えられる社会人になれるように日々精進していきます。



大岡 翼さん



加藤 夏美さん

こうして成人を迎えることができたのは、これまで出会ってきた皆さんのおかげ。特に両親には感謝しています。これからは大人としての自覚を持ち、いろいろなことに挑戦していきたいです。